

大牟田市水道事業経営戦略（案）への市民意見募集結果について

資料 2

企業局では、本市水道事業の中長期的な経営の基本計画となる大牟田市水道事業経営戦略（計画期間：令和8～17年度）を策定するにあたり、原案について市民意見を募集しました。その結果は次のとおりとなります。

1. 意見募集の概要

- (1) 募集期間：令和7年12月10日（水）～令和8年1月8日（木）
- (2) 閲覧方法・閲覧場所：市ホームページ、各地区公民館、えるる、情報公開センター、企業局総務課
- (3) 提出方法：意見提出フォーム、電子メール、郵送、Fax、持参
- (4) 意見の提出状況：10件（3名）すべて意見提出フォームによるもの

2. 意見への企業局の考え

- (1) 水道事業経営戦略（案）へ反映するもの：0件
- (2) 水道事業経営戦略に基づく取組みや今後の事業運営の参考とするもの：10件

①効率的な運営のための広域協議の場について

番号	意見の内容	企業局の考え	(案)の主な記載箇所
1	水道料金の効率化のために、熊本県や福岡県との協議が必要と思われるが、大牟田市がイニシアチブをとった協議を進めていく必要があります。そういう、協議の場を設けてください。	人口減少下の水道事業においては、広域化・広域連携の検討は大変重要であると認識しております。福岡県や筑後圏域における広域化・広域連携については、これまで連絡会や勉強会などが行われており、その議論を少しずつ行っています。今後も県や近隣の事業者との協議を継続し、広域化・広域連携の可能性や具体的な進め方について検討を進め、水道技術の向上や事業運営の効率化に取り組んでいきます。	P6 [施策3]⑥ 1) P9 5 P83 7-5

②減価償却費について

番号	意見の内容	企業局の考え	(案)の主な記載箇所
2	減価償却が正しくなされてきたかを明確にしてください。	減価償却費につきましては、地方公営企業法施行規則で定められている方法に基づき算出し、毎年度の決算において適切に計上しています。本市では定額法（それぞれの資産の帳簿原価から残存価格を控除した額に、耐用年数に応じて規則で定められた率を乗じて算出する方法）を適用しており、毎年度同じ金額の減価償却費を計上しています。	—

③料金の値上げはすべきではない

番号	意見の内容	企業局の考え	(案)の主な記載箇所
3	上下水道の更新に当初とは違う施設料金が発生しています。単純に独立採算性を当てはめるのではなく、市税の投入を検討してください。	地方公営企業法の適用を受ける水道事業は、独立採算が原則とされており、必要な経費は税金ではなく水道料金収入で賄うことが求められます。この例外として、水道料金収入を充てることが適当でない経費（消火栓の設置・管理費用など）は、総務省が発出する「操出基準」に基づき、一般会計から繰入れを行うこととなります。	P27 3-1 (2) P42～46 4-1、4-2 P51
4	今の市の方針は22%の値上げを市民に押しつけるやり方としか思えません。改めて、検討をやり直してください。	人口減少による有収水量の減少に伴い、水道料金収入が減少する一方で、委託料や材料費、薬品費、動力費などの施設の維持管理にかかる費用や施設や管路の更新費用は、物価上昇等の影響により増加する推計となりました。 事業運営にあたっては、効率的な事業実施に取り組むとともに、国庫補助金等の有利な財源を可能な限り活用していくこととしておりますが、これまで以上の経費削減による収支好転は困難な状況であるため、安定した水の供給を行うためには、適切な料金体系の維持が必要となるものと考えます。	6 P60 3 P72 4
5	水は生きていく上で最も欠かせないもの。市財政と何故どくりつさいさんせいなのか？値上措置を回避するすべを更に検討すべき。 【該当箇所】 45、60、61、71、72頁	料金改定にあたっては、条例の改正が必要となります。今後、具体的な料金体系の見直しと時期について、独立採算と市民負担のバランスを考慮しながら慎重な検討を行うこととしています。	
6	市民減少に歯止めがかからず、水道利用総使用量は減るはず、何故に水道料金が高くなり市民負担が重くなるのか？本来、市の事業であって市民に水道料金の負担増を求めるのは筋違い。見直しを求めます。 【該当箇所】 45、60、61、71、72頁		
7	人口減で収入が減るのはわかりますが、料金を値上げして市民の負担を増やすのはやめてほしい。先が見えない物価高に悲鳴をあげている市民が多くいます。水は大切なライフラインです。予算の見直しなどで市民から徴収しなくていいように努力してください。 【該当箇所】 72頁		

④事業の安定運営について（民間委託をせずに市独自で運営すべき）

番号	意見の内容	企業局の考え	(案)の主な記載箇所
8	水道の民間委託はむしろ採算が取れないという事実が明らかになっています。市独自の仕事として行えるよう、市としての力量をヒト、モノ、カネの分野でつけるようにしてください。	本経営戦略（案）では本市水道事業における経営の基本方針として、基本理念と3つの理想像を掲げています。その実現に向け取り組む事業や目標値も記載しています。これまでの間も水道技術の継承や経済性の視点で、水道事業の安定運営のために、浄水場の維持管理や窓口業務等を民間委託しています。今後も民間委託を活用しながら、維持管理・更新期の水道事業に適した組織づくりを進める中で、人材育成を図り、水道技術の継承に取り組んでいきます。	P51 3、4

⑤市民意見募集方法について

番号	意見の内容	企業局の考え	(案)の主な記載箇所
9	市民への意見募集なら、一市民が意見を出しやすいような募集をしてください。膨大なそちらの資料を読まなければならないような意見募集は市民の意見を集める意思が見られません。	本経営戦略（案）では、本市水道事業の沿革、施設概要について説明するとともに、経営や財政状況の分析を行っております。現状と課題分析や本市水道特有の状況を踏まえ、経営の基本方針と取り組む事業、今後の検討事項を記載しています。これらを見込んだ財政見通しとなる投資・財政計画（収支計画）を一連でご説明していることから、閲覧資料の簡素化や一部を抜粋した概要版を作成しておりませんでした。 また、意見提出には、住所、氏名、連絡先等の個人情報の記入が必要であることから、企業局以外の閲覧場所での受付を行わなかったものです。今後、市民意見募集を実施する際には、いただいた意見を参考に、より多くの意見をいただける方法を検討したいと思います。	—
10	パブリックコメントを募集する時にいつも思うのですが、市民の声を聴こうとしないようなやり方に疑問を感じます。分厚い資料1冊を地区公民館などに置くのではなく、概要を書いたものを複数（10冊くらい）用意してもらい、自宅に持ち帰って読めるようにしてほしい。提出の方法も、パソコンでなく手書きで意見を出したい方が出せるように、各地区公民館で意見書を回収するなどしてほしい。同時期に募集していた新型インフルエンザ等行動計画（案）についてのパブリックコメントが地区公民館で回収されていたのに、なぜ水道事業経営戦略（案）についての意見はそうならなかったのでしょうか。本気で市民の意見を聴こうと考えるならもっと丁寧なやり方にしてください。		